





本組合の出品に係る風穴模型は

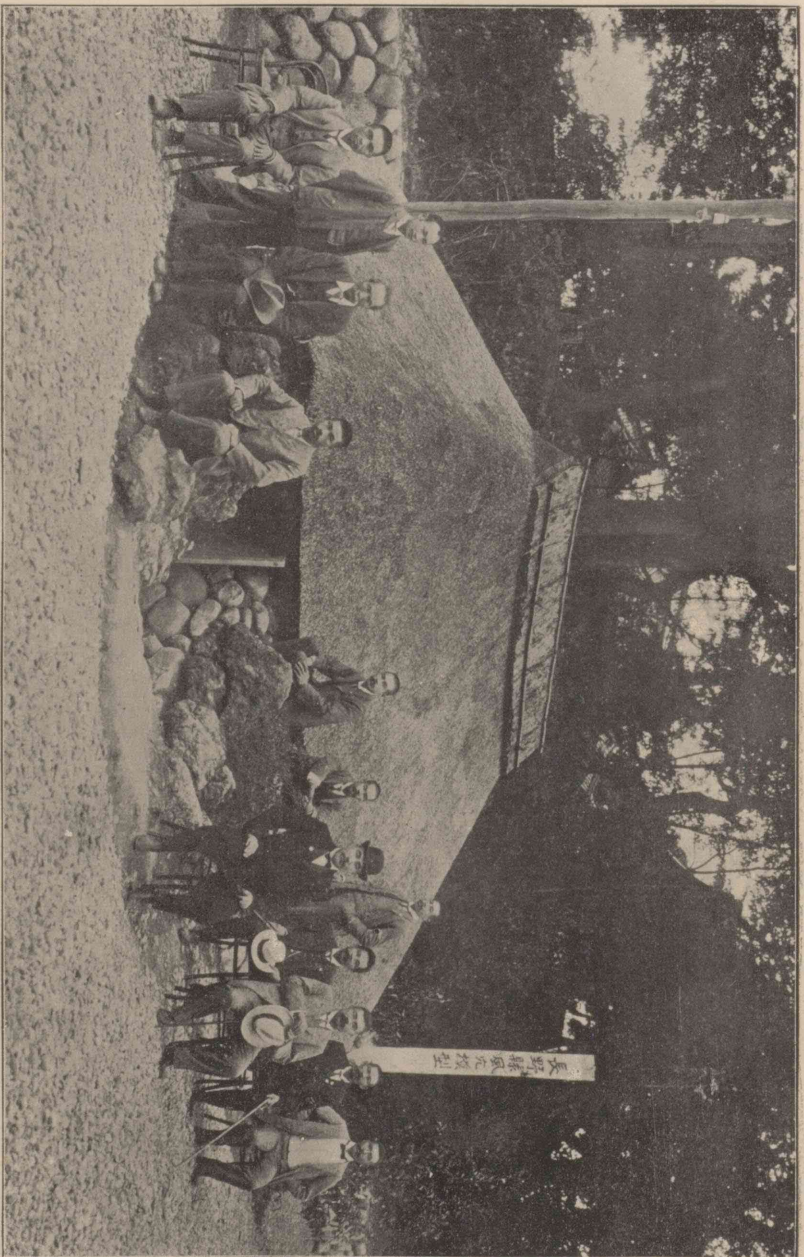
大日本蠶糸會總裁伏見宮殿下の臺  
臨を忝うし深厚ある感稱の辞を賜  
はり組合員の光榮之れに過ぎざる  
まり



### 長野縣風穴の綱領

- 一、長野縣の風穴は其數現在九十四であります
- 一、長野縣の風穴總容積は二十二萬九千〇二十七立方尺であります
- 一、長野縣の風穴に貯藏し得らるべき蠶種の枚數は實に三百八十一萬七千百枚であります
- 一、長野縣の風穴其多くは安山岩の重疊でありまして常に其罅隙から冷風を吹き出します故に室内濕氣が少なく温度は華氏四十五度以内で蠶種の貯藏に適して蠶卵の生理を害する虞がありません
- 一、長野縣の風穴に蠶種の貯藏を委託せるものは四十一年度に一府三十一縣の多きに亘り其數は實に百四十八萬六千四百六十三枚であります
- 一、長野縣の風穴の良好なるは年々委託者の増加するに因て証明し得られます
- 一、長野縣の風穴蠶兒の發生は任意の時期まで抑制し究理法を發明して其性質を人為的に變化せしむるの特技を有す
- 一、長野縣の風穴は晩近生種の貯藏を行ひ其結果良好にして却つて飼育容易に且つ隨時發生するを得るにより養蠶經濟上多大の利益があります

長野縣風穴貯種蠶品出會進共合縣十府一催主縣野長



君治佐土中田 君作清林 君惠鶴羽赤 君郎一東山丸 君作順澤四 君一誠原栗 君正菅 君助之德子増 君郎次俊田福 君昌綱山大 君助之宇田岡



雄大なる哉信州の山巍峨重疊以て群峰を睥睨すべく清淨なる哉信州の河激湍滔々注て大羸の水となる須らく知るべし今古幾多の偉人傑士を生出せしも豈偶然ならんや正氣粹然として之れを事物に發す試に眼を轉じて縣下に於ける輓近實業界の有様を洞觀せんか帝國唯一の利源たる生糸は如何其製造全國三分の一を占むるにあらずや蠶種の如きは其紀元數百年の往古にありて漸次發進の勢を呈し聲價隆々として海内を風靡し産額參百五十拾有餘萬の多額にあり然り而して今や蠶界重要の利器として一日も缺くべからざる風穴の如きは殆んど吾信州の特有物なりと云ふも敢て過言にあらざるなり聞説近時蠶業の發展に伴ひ他府縣に於ても較々風穴の築造をなすものあるを耳にすると雖ども地勢の不適は遅々以て勃興の機を與へず其多大の蠶種をして全國の八割以上本縣に貯藏を托するにあらずや蓋し事物の發達は其効果の顯著なるに職由するものにして本縣風穴の今日あるを致したるは貯藏者の熱誠周致なる注意にありと雖ども主として地の利の然らしむる處天の吾に幸する又至大なりと云はざるべからず今現に四十一年度に於ける概表を示さん

- 一 本縣風穴の所有者 七十名 (内會社若くは組合組織のもの十五個)
- 一 本縣の風穴個數 九十四個
- 一 本縣風穴の容積 二十二萬九千〇二十七立方尺
- 一 本縣風穴蠶種貯藏枚數 三百八十一萬七千五百五十枚



今明治四十一年度に於ける本縣風穴貯藏委託をなせし府縣別并に枚數を列記せん

北海	道	二百餘枚	新潟	縣	二千二百餘枚
東京	府	九萬五千八百餘枚	兵庫	縣	千五百餘枚
京都	府	四萬二千二百餘枚	千葉	縣	一万二千四百餘枚
神奈川	縣	二萬二千七百餘枚	茨城	縣	一萬二千二百餘枚
埼玉	縣	四萬一千五百餘枚	栃木	縣	三千四百餘枚
群馬	縣	五萬八千六百餘枚	奈良	縣	千五百餘枚
愛知	縣	卅一萬三千六百餘枚	福岡	縣	千七百餘枚
三重	縣	五萬五千八百餘枚	宮崎	縣	千六百餘枚
静岡	縣	六萬四千三百餘枚	長野	縣	二十四萬三千餘枚
岐阜	縣	卅七萬九千五百餘枚	福島	縣	二千三百餘枚
富山	縣	五萬二千二百餘枚	石川	縣	一萬餘枚
鳥取	縣	二萬七百餘枚	福井	縣	五百餘枚
島根	縣	一萬五千三百餘枚	岩手	縣	二十八餘枚
滋賀	縣	二萬八千五百餘枚	岡山	縣	七百餘枚

山口縣 千八百餘枚  
大分縣 八百餘枚

德島縣 四百餘枚  
合計 百四十八萬六千五百餘枚

右之外生種と稱する夏秋蠶種の單期貯藏を調査せば殆んど十萬枚の多きに達す

以上は風穴業者最近の状態に之れあり此多大にして責任の重且つ貴なる事業をして自然的に放任せんか其間或は不測の禍根を迸出するなきを保せざるを以て當局者に於ては明治三十九年七月縣令第二十七號を以て風穴取締規則を發布し温度の如きは穴内華氏四十五度を超へざることし容器は二重式となし其他風穴一切の構造を嚴正に達せらる於之縣下の當業者は改築或は新設に着手し既に其完成を告ぐるに至ると雖ども示後新築營業の許可を諸願するもの多數之れあるは大に斯業の前途を祝するに足る而して昨四十年十二月縣下の當業者一團となり營業上の改良を圖り進んで弊害を矯正するの目的を以て組合を設立し規約を成定の貯藏料の一定を斷行し一府十縣聯合共進會に風穴模型を出品する決議をなし之れが實行をなしたるに未だ曾て他に類例を見ざることと頗る參觀者の好評を博し本縣知事並に愛知新潟の兩知事を始め押川農商務次官各高等官等の稱讚を得殊に大日本蠶糸會總裁伏見宮殿下の貴臨を忝し組合の光榮之れに過ぎず爾後組合員たるものは益奮勵以て業務に従事せざるべからず之れ今日に於ける本組合の概様なり











園原  
**中澤風穴**

取扱は 蠶卵の生理を害せざる様最も懇切にあす  
 構造は 専門家の指導により新式合理的にして最良  
 設備は 完全無欠

信州長野縣伊那郡智里村字園原

營業者 熊谷廣太郎

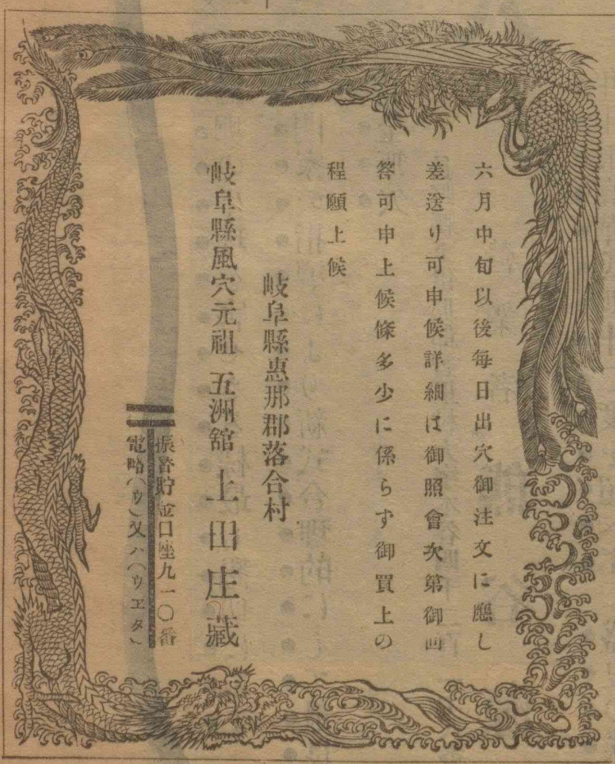
營業許可 自一月一日至八月卅一日  
 湿度は 適度  
 風脈は 世界無類の寒冷なる良風脈を有す

大日本農會總裁宮殿下賞狀下賜  
 岐阜縣農會長閣下有功金銀章拜受

大日本  
本場 **風穴秋蠶種**

●種類  
 中巢 青熟 大錦  
 改良玉無 玉無

●定價  
 原種用種一枚七十錢  
 製系用種一枚一四五十錢



六月中旬以後毎日出穴御注文に應じ  
 差送り可申候詳細は御照會次第御回  
 答可申上候條多少に係らず御買上の  
 程願上候

岐阜縣惠那郡落合村  
 岐阜縣風穴元祖 五洲館 上田庄藏

振替貯金口座九一〇番  
 電話(リ)又ハ(リ)エタ



取△  
構△  
設△  
備△

# 大谷風穴

温△  
濕△  
風△  
脈△

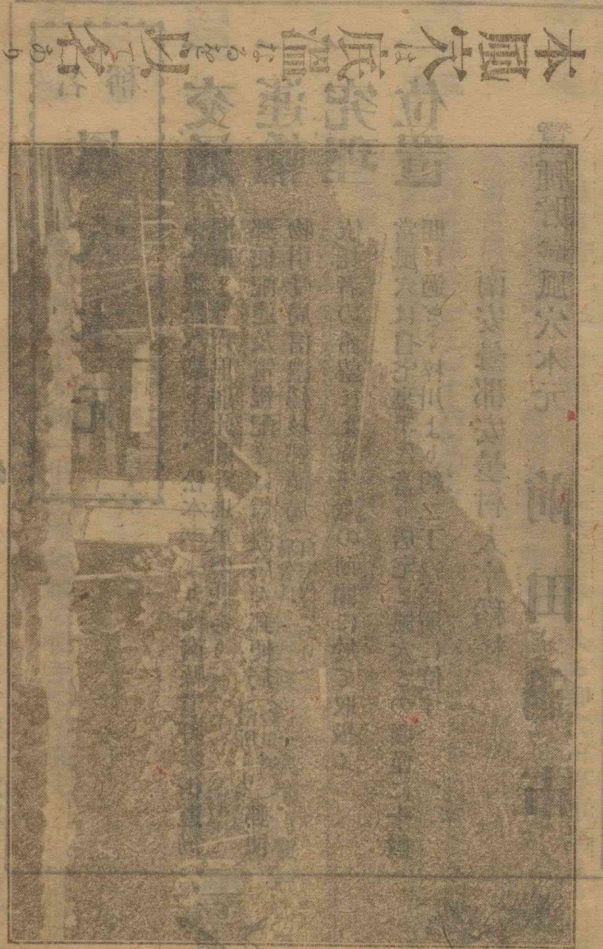
蠶卵の生理を害せざる様最も懇切にあす  
専門家の指導により新式合理的にして最良  
完全無欠

営業者 熊谷源六

長野縣下伊那郡智里村大字本谷四千二百二十八番地  
年中最高華氏四十二度を超へず（盛夏の候四十度）

適度  
世界無類の寒冷なる良風脈を有す

穴風澤入の第一界世見



有所助代石三村沼青郡久佐南縣野良

本風穴家屋に接近して便



名 稱  
風 穴 本 元

一 交 通

中央線松本驛下車、松本市より西南縣道野麥街道筋  
同市より六里弱此間人馬車の便あり

一 運 輸

郵便配達及電報配達は信濃島々郵便局(當所より)郵便  
物引受局信濃稻核郵便局(局舎は)(自宅内にあり)

一 究 理

依託者の希望により任意の期間に於て取扱ふ

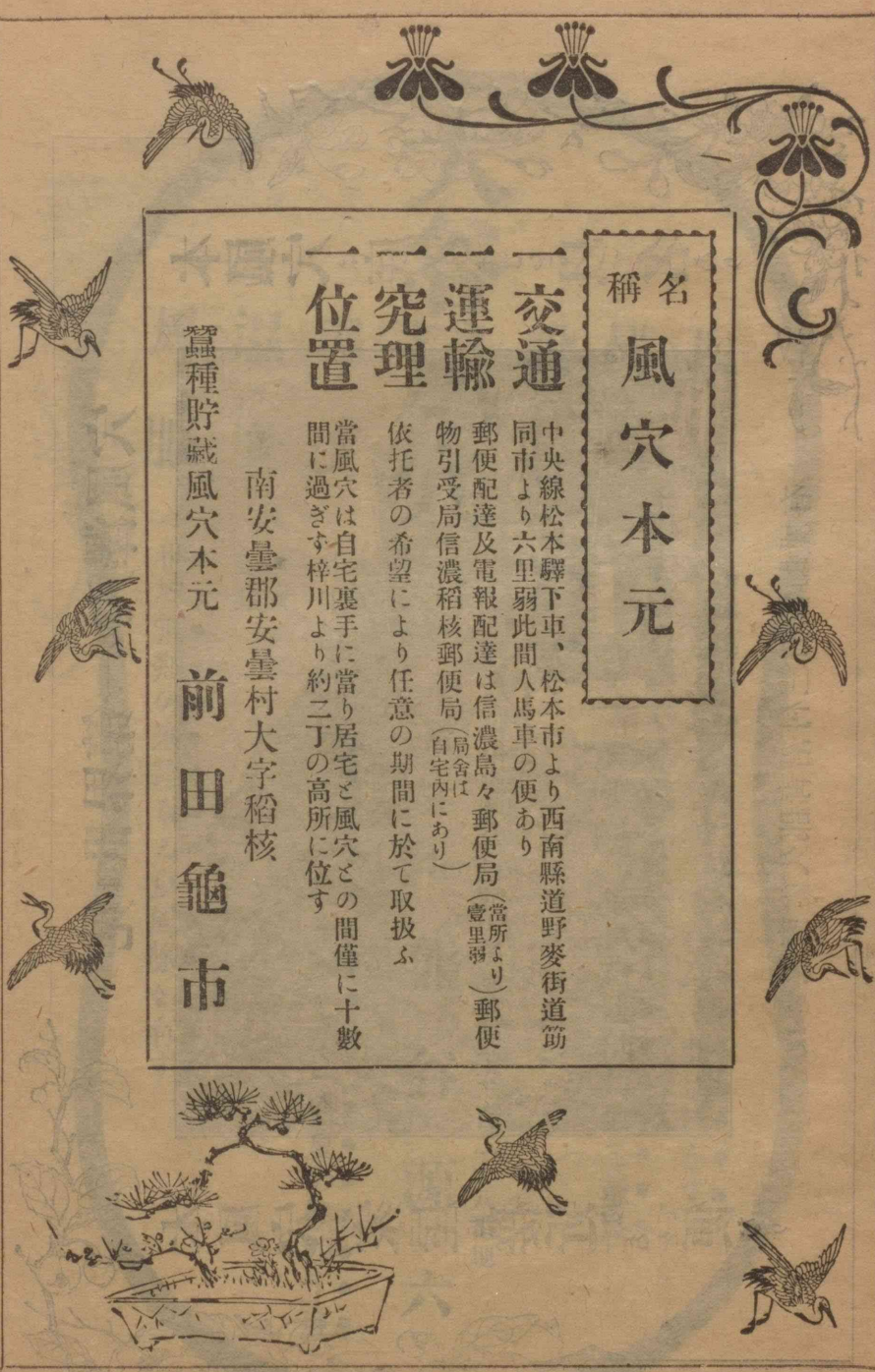
一 位 置

當風穴は自宅裏手に當り居宅と風穴との間僅に十數  
間に過ぎず梓川より約二丁の高所に位す

南安曇郡安曇村大字稻核

蠶種貯藏風穴本元

前田 龜 市



入 澤

風 穴

所 有 者  
三 石 代 助

風穴位置

信州南佐久郡青沼村字入澤西權現通り稻荷山の麓居宅の奥庭に在り

甲州街道にして白田町より武州街道に入る御代田停車場より白田町迄三里餘小諸停車  
場より四里餘にして時間馬車の便あり白田町より二十町にして風穴に達す郵便は田ノ

風穴位置

口局電信は白田局扱に屬せり

容積及蠶  
種取扱

風穴容積は二千〇十六立方尺にして規模大ならずと雖も地下風力の強烈なる他に比  
類なし現今蠶種貯藏枚數一萬枚之が入穴時期は一月初旬出穴は委託者の希望により隨  
時取扱ふものとす 又蠶種究理扱を爲す

古 屋 々 澤 風 穴

所 有 者  
柳 澤 榮 之 助

風穴位置

信州北佐久郡平根村字上平尾に在り

交通運輸

信越線御代田驛より約一里交通運輸の便至つて良し

容積及蠶  
種取扱

風穴容積は千九百四十四立方尺にして蠶種貯藏の枚數一萬五千枚なり而して之れが入  
穴時期は毎年三月中旬出穴は依託者の望みに依り隨時取扱ふ



### 東信

### 風穴

井出佐源太

風穴位置  
交通運輸

信州北佐久郡川邊村大字大久保前山千曲川の邊り有名なる布引山の半腹に在り  
小諸驛停車場より約二十町北陸街道より十五丁にして郵便電信は小諸局配達區内に屬す

容積及蠶種取扱

風穴容積は四千八百六十立方尺にして蠶種貯藏枚數五萬枚之が入穴時期は三月初旬出穴は希望により隨時取扱ふべし  
究理營業及荷扱共小諸停車場前事務所内に於てす

### 小諸

### 風穴

柳澤大六

風穴位置  
交通運輸

信州北佐久郡川邊村大字大久保前山千曲川の西南方布引山の近傍に在り

容積及蠶種取扱

信越線小諸驛より風穴所在迄僅かに十八町（小諸驛は途中下車驛一列車待視察の便あり）郵便、電信配達は小諸局市内に屬し至極便利なり目下小諸局風穴間電話架設中  
風穴箇數四ヶ所にして此容積二万九千七百七十九立方尺蠶種貯藏枚數四十四万二千四百七十五枚なりとす而して之れが入穴時期は毎年三月初旬出穴は依托者の希望により隨時取扱ひを爲す

長野縣北佐久郡協和村三三四五番地

### 蓼北

### 風穴

清水袈裟平

風穴位置  
交通運輸

信州北佐久郡協和村大字延澤八町地蓼科山北方の麓に在り

容積及蠶種取扱

仲仙道望月郵便局管内佐久郡より諏訪郡に通ずる甘酒峠の途中にして交通運輸に至極便利なり  
風穴容積は階上階下を合せて二千〇七十九立方尺此蠶種貯藏枚數三万四千七百枚なり而して是れが入穴時期は二月上旬出穴は依托者の希望により隨時取扱ふ殊に室内設備は整頓し自記寒暖計を備へ付け學理を實地に應用し蠶種究理の依托に應ずべし

長野縣北佐久郡川邊村一三四番地

### 氷風

### 穴

前田信右衛門

風穴位置  
交通運輸

信州北佐久郡川邊村大字大久保氷千曲川を距る南方六町有名なる布引山近傍に在り  
信越鐵道線小諸停車場より約三十町郵便取扱は小諸局電報配達は市内無料配達區なり

客積及蠶種取扱

風穴ヶ數六ヶ所にして容積二萬一千三百〇一立方尺此蠶種貯藏枚數二十六万八千枚あり而して之れが入穴時期は三月初旬出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱ひを爲す



### 柳澤

### 風穴

所有者 柳澤萬兵衛

風穴位置

信州北佐久郡川邊村大字大久保前山千曲川の邊り布引山觀世音道筋にあり

交通運輸

小諸停車場より約二十町郵便電信は小諸局所屬無料配達區なり

容積及蠶種取扱

風穴容積六千三百九十立方尺にして蠶種貯藏枚數三万八千枚なり而して之れが入穴時期は三月上旬取扱ひ出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱を爲す

希望に依り熱心蠶種の究理を行ふ

### 別所

### 風穴

所有者 別所風穴株式會社 倉澤運平

風穴位置

信州小縣郡別所村(温泉場)宇水澤に在り

交通運輸

信越線上田驛より西南約三里車馬の便有郵便電信は別所局區内に屬し電話の設備あり

容積及蠶種取扱

風穴容積千六百廿立方尺にして此蠶種貯藏枚數二万枚なり之れが入穴時期は毎年三月初旬出穴は隨時依頼に應じて取扱ひをなす

又蠶種の究理も依頼に應じ取扱ふべし

### 伏見

### 風穴

所有者 伏見源太郎

風穴位置

信州小縣郡武石村大字下武石字半臺に在り

交通運輸

信越線大屋停車場より三里武石村沖區諏訪街道より六丁にして交通の便最も宜し郵便

は武石局區内に屬せり

容積及蠶種取扱

風穴容積は千二百十五立方尺にして此蠶種貯藏枚數二萬枚なり之れが入穴時期三月上旬出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱ふべし又蠶種究理の依頼に應ず

### 獨姑山風穴

所有者 福田俊次郎

風穴位置

信州小縣郡西鹽田村大字前山大久保巍峨たる高峰にして海拔四千尺の處に在り

交通運輸

信越線上田停車場より事務取扱所は上本郷區矢幡利金太宅まで一里半時間馬車の便あり夫れより二十丁餘にして風穴に達す郵便は上本郷配達區内に屬し電信は東鹽田局市内なり

内なり

容積及蠶種取扱

風穴容積は二千三百四十六立方尺にして此蠶種貯藏枚數二萬枚之れが入穴時期は毎年二月上旬出穴は依托者の需に應じ隨時取扱ふものとす



### 上田風穴

長野縣小縣郡神科村八九〇番地  
所有者 麗水堂 倉嶋所右衛門外一名

風穴位置

風穴箇数は二箇所にして其一號は小縣郡神科村字金剛寺に在り二號は同郡傍陽村字曲尾(目下改築中)に在り

交通運輸

一號風穴への通路は信越線上田停車場より二里にして郵便は長村局配達区内に属し二號風穴は同じく三十丁にして人馬車の便あり郵便、電信は上田局区内に属し至つて便利なり

容積及蠶種取扱

風穴容積現在千二百九十六立方尺此蠶種貯藏枚數一萬五千二百枚にして之れが入穴時期は毎年三月上旬出穴は依托者の望みに應じ隨時取扱ふものとす

### 氷平風穴

長野縣小縣郡傍陽村一四九番地  
所有者 武捨市次郎

風穴位置

信州小縣郡傍陽村淺間山の連嶺烏帽子岳の西方なる同村西部連山の絶頂にあり

交通運輸

上田町を距る三里にして毎日五回定期往復の馬車あり郵便は長村局区内に属す

容積及蠶種取扱

風穴容積六百四十八立方尺此蠶種貯藏枚數一萬枚なり而して之れが入穴は三月中旬出穴は隨時取扱をなす

又蠶種の究理取扱の設備中

### 湖南風穴

長野縣諏訪郡湖南村二六五番地  
所有者 湖南風穴合資會社  
代表者 原忠三郎

風穴位置

信州諏訪郡湖南村字南真志野大見山の山腹にて海拔千五十七米突の高處に在り

交通運輸

中央東線上諏訪驛より約壹里にして人車の便自在なり郵便、電信は湖南局区内に属せり

容積及蠶種取扱

風穴箇数は二箇處にして此容積二千五百二十立方尺ありて蠶種貯藏枚數實に四萬枚而して之れが入穴時期は毎年一月初旬出穴は依托者の需めに應じ隨時行ふ専ら蠶種の究理扱ひを爲す

### 神宮寺風穴

長野縣諏訪郡中洲村一二番地  
所有者 白鳥三郎兵衛

風穴位置

信州諏訪郡中洲村神宮寺片山縣道の側らに在り

交通運輸

中央東線上諏訪驛より一里餘車馬の便自在なり

容積及蠶種取扱

風穴容積は八百十立方尺にして蠶種貯藏枚數三千枚なり而して之れが入穴時期は毎年三月中旬出穴は依托者の希望に依り隨時取扱ふ又蠶種の究理は専門に従事す



### 槻木

### 風穴

所有者

三浦園右衛門

外二名

#### 風穴位置

信州諏訪郡泉野村八ヶ岳連山阿彌陀ヶ岳山麓に流るゝ柳川右岸險崖森林の中腹に在り  
北方に面す

#### 交通運輸

中央東線茅野驛より約二里諏訪佐久の通路中本澤温泉澁温泉夏期植物採取の要路泉野  
村槻木區より約二町郵便は玉川郵便局區内に屬し約三十丁電報配達は市外

#### 容積及蠶種取扱

風穴容積六百六十五立方尺にして此蠶種貯藏枚數一万一千〇八十三枚なり而して之れ  
か入穴は二月上旬出穴は隨時取扱ふ 又蠶種究理の需めに應ず

### 立場山風穴

所有者

穴山蠶種貯藏組合

代表者 伊藤忠助

#### 風穴位置

信州諏訪郡玉川村八ヶ岳麓蝙蝠岩に在り立場山の沿岸天然の岩窟を利用して築造した  
るものなり

#### 交通運輸

中央東線茅野停車場より一里餘車馬の便ありりれより險道三里にして風穴に達す郵便  
は穴山局配達區内

#### 容積及蠶種取扱

風穴容積七千五百六十立方尺にして此蠶種貯藏枚數十萬枚なり而して入穴は毎年三月  
中旬出穴は依托者の需めに應し隨時行ふ 又蠶種の究理をも取扱ふ

### 小野風穴

所有者

宇治松司

#### 風穴位置

信州上伊那郡小野村字雨澤小字向田に在り

#### 交通運輸

三州街道に瀕し風穴より中央東線小野驛へ約七町交通運輸の便極めて佳良なり郵便電  
信は小野局配達區内に屬せり

#### 容積及蠶種取扱

風穴容積は九百立方尺にして此蠶種貯藏枚數二千枚なり而して之れか入穴時期は毎年  
二月初旬出穴は隨時取扱ふものとす

### 小横川風穴

所有者

小澤庄太郎

#### 風穴位置

信州上伊那郡伊那富村字伊那富小横川矢花に在り

#### 交通運輸

中央線長野停車場より三十町三州街道筋より二十町郵便、電信は宮木局配達區内に屬  
せり

#### 容積及蠶種取扱

風穴容積は千二百十五立方尺にして蠶種貯藏枚數四百枚なり而して之れか入穴時期は  
毎年三月上旬出穴は依托者の希望に依り隨時取扱ふ



### 荊口

風穴位置

交通運輸

容積及蠶種取扱

長野縣上伊那郡三義村二〇二番地  
信州上伊那郡三義村字荊口山室川の上流海拔五千二百尺の處に在り  
高遠町より二里半中央東線茅野驛より五里にして風穴所在地に達す郵便は長藤局配達区内に屬せり  
風穴容積は七百七十七立方尺にして此蠶種貯藏枚數五千枚なり而して入穴時期は二月上旬出穴は依托者の需に應じ隨時取扱ひをなす

### 風穴 北原喜太郎

### 折澤

風穴位置

交通運輸

容積及蠶種取扱

長野縣下伊那郡智里村三〇七番地  
信州下伊那郡智里村大字本谷折澤惠那山脈に在りて年中氷あり妙風穴なり  
下伊那郡會地村駒場より西筑摩郡神坂への通路にして郵便電信は駒場局配達区内に屬せり  
風穴容積は七百十二立方尺此蠶種貯藏枚數五千枚にして之れが入穴は毎年一月中旬出穴は依托者の需に應じ隨時取扱ふべし 又蠶種の究理を行ふ

### 風穴 佐々木虎彌

### 大谷

風穴位置

交通運輸

容積及蠶種取扱

長野縣下伊那郡智里村一二二八番地  
信州下伊那郡智里村大字本谷字大谷伊那山の麓にあり創業は明治二十二年なり  
神坂街道にして本村園原より風穴所在迄二十丁郵便電信は駒場局配達区内に屬す又中央西線中津川停車場への通路にあり  
風穴容積は一千百五十二立方尺此蠶種貯藏枚數一萬五千六百枚なり入穴は毎年二月中旬出穴は依托者の需に應じ隨時取扱ひをなす 又蠶種の究理を行ふ

### 風穴 熊谷源六

### 棚洞

風穴位置

交通運輸

容積及蠶種取扱

長野縣下伊那郡清内路村一九七七番地  
信州下伊那郡清内路村字孫六澤棚洞に在り  
三州街道駒場宿より約二里交通、運輸の便尤も良し  
風穴容積は千四百四十立方尺にして蠶種貯藏枚數一萬六千八百枚なり而して之れが入穴時期は毎年一月初旬出穴は依托者の望みに應じ隨時取扱ふものとす

### 風穴 原義男



### 園原 中澤 風穴

長野縣下伊那郡智里村二〇八番地  
所有者 熊谷廣太郎

風穴位置 信州下伊那郡智里村神坂山中の澤四千二百五十七番地イ號に在り

交通運輸 本郡會地村駒場より木曾神坂街道筋園原宿より二十餘丁にして風穴に至る郵便、電信は駒場局配達区内

容積及蠶種取扱 風穴容積は九百四十五立方尺にして蠶種貯藏枚數一萬五千枚なり而して之が入穴時期は一月初旬出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱ひを爲す

### 第二

### 折澤 風穴

長野縣下伊那郡智里村三九九五番地  
所有者 佐々木才次郎

風穴位置 信州下伊那郡智里村大字本谷折澤惠那山麓に位し年中氷あり妙風穴なり

交通運輸 木曾神坂への通路にして郵便、電信は會地村駒場局配達区内に屬せり

容積及蠶種取扱 風穴容積は千四百四十立方尺蠶種貯藏枚數二萬四千枚なり之れが入穴時期は一月中旬出穴は依頼に應じ隨時取扱ひを爲す又蠶種の究理扱を爲す

### 不動 風穴

長野縣下伊那郡智里村二六七番地  
所有者 古布村傳之助  
外三名

風穴位置 信州下伊那郡智里村大字本谷小字不動即ち美濃國々境野熊山の麓にあり

交通運輸 西筑摩郡神坂村への通路にして中央西線中津川停車場迄四里郵便電信は駒場局配達区内なり

容積及蠶種取扱 風穴容積は千〇〇八立方尺にして蠶種貯藏枚數一萬六千八百枚なり之れが入穴時期は毎年一月初旬出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱ふ 又蠶種究理の依托に應ず

### 岡目 風穴

長野縣西筑摩郡神坂村二九五番地  
所有者 鈴木新藏

坂下社第三貯藏庫

風穴位置 信州西筑摩郡神坂村字三坂南の方御料地内惠那山東北方冷川の上流に在り

交通運輸 中央西線中津驛より三里餘下伊那郡飯田町に通ずる園原道筋に沿ひ交通の便極めて宜し

容積及蠶種取扱 風穴容積は千四百四十立方尺にして蠶種貯藏枚數二萬四千枚なり而して之れが入穴時期は二月上旬出穴は依托者の希望に依り隨時取扱ふ



### 殿風穴

長野縣西筑摩郡大桑村字殿一一五番地

所有者

篠原傳之助

風穴位置

信州西筑摩郡大桑村字殿、小川に在り

交通運輸

仲仙道本曾長野宿近傍にして交通運輸共至つて便宜なり

容積及蠶種取扱

風穴容積は千九百四十四立方尺にして蠶種貯藏枚數二萬枚あり之れが入穴時期は毎年三月初旬出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱ひを爲す

坂下社第二貯藏庫

長野縣西筑摩郡神坂村一八三五番地

### 横穴風穴

所有者

志村藤助

風穴位置

信州西筑摩郡神坂村字三坂南方御料地に在り

交通運輸

中央西線中津驛より三里下伊那郡飯田街道筋にして郵便は神坂局電信は中津局配達區内に屬せり

容積及蠶種取扱

風穴容積は二千四百四十八立方尺此蠶種貯藏枚數三萬三千三百三十三枚なり之れが入穴時期は毎年二月上旬出穴は依托者の希望に依り隨時取扱ふ

進榮社  
公榮社  
開進社

### 風穴

長野縣西筑摩郡神坂村二六九番地

所有者 社主

早川治郎八

風穴位置

信州西筑摩郡神坂村字三坂北方御料地三八四〇番地籍内に在り進榮社第一號より三號まで公榮社一號より二號まで開進社名もの等あり

交通運輸

中央西線中津停車場より約三里にして交通運輸の便至つて佳良なり郵便は馬籠局區内に屬せり

容積及蠶種取扱

風穴總數六ヶ所にして其容積一万五千四百四十七立方尺にして此蠶種貯藏枚數二十五万六千枚なり之れが入穴時期は毎年二月上旬より出穴は委托者の望みに依り隨時取扱ふ又蠶種の究理扱を爲す

長野縣西筑摩郡神坂村四五番地

所有者 社主

嶋崎幾三郎

### 神坂社風穴

風穴位置

信州西筑摩郡神坂村字三坂南方御料地惠那山麓温川冷川の袂間鬱蒼なる森林中に在り

交通運輸

岐阜縣惠那郡中津川より下伊那郡飯田町に通する沿道にして神坂峠の頂上に郵便繼立所あり蠶種は神坂局と岐阜縣惠那郡落合局と又中津驛より發送するの便あり

容積及蠶種取扱

風穴箇數二ヶ所にして此容積は四千八百五十一立方尺此蠶種貯藏枚數五万八千八百枚にして入穴時期は二月初旬出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱ふへし



### 三 坂 大洞風穴

長野縣西筑摩郡神坂村二六六番地

所有者 成功社

嶋田龜吉

風穴位置

信州西筑摩郡神坂村字三坂北ノ方此料地三八四〇番地籍に在り

交通運輸

中央西線中津驛より約三里にして交通、運搬共に便利なり

容積及蠶種取扱

風穴容積は千七百二十八立方尺にして蠶種貯藏枚數二万五千枚なり而して之れが入穴時期は毎年二月初旬出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱ふ

### 木原風穴

長野縣西筑摩郡吾妻村五〇番地

所有者 江聲館

木原鏝三

風穴位置

信州西筑摩郡神坂村字三坂北の方御料地三千八百四十番惠那山麓寒川近傍に在り

交通運輸

中央西線中津驛より二里餘にして下伊那郡駒場に通ずる神坂峠の路傍交通運輸の便最もよろし

容積及蠶種取扱

風穴容積二千百立方尺此蠶種貯藏枚數二万九千枚なり而して之れが入穴時期は二月下旬出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱ふ

### 共榮社風穴

岐阜縣惠那郡落合村

振替口座第九一〇番  
電話(ウ)又ハ(ウエタ)

所有者 五洲館主

上田庄藏

風穴位置

信州西筑摩郡神坂村字三坂北方霧ヶ原御料地内古檜老樹鬱蒼として白晝も暗きを感じる場所にあり炎暑の候と雖も氷の解くる事なし

交通運輸

中央西線名古屋より中津驛に下車夫より一里にして弊館に達し弊館より風穴所在迄約二里半五時間にして往復し得べく随つて交通運輸の便極めて佳あり

容積及蠶種取扱

風穴容積三千七百八立方尺にして蠶種貯藏枚數六萬三千枚之が入穴時期は毎年二月上旬にして隨時出穴の需めに應ずべし

### 曾木 福嶋風穴

長野縣西筑摩郡福嶋町六三七番地

所有者

中澤男三郎

風穴位置

信州西筑摩郡福嶋町字柴原山林内に在り

交通運輸

仲仙道木祖街道筋棧より東へ一里餘鐵道の便は目下中央西線中津驛より中央東線塩尻驛へ連絡工事中郵便、電信は福嶋局所屬にして至極便利なり

容積及蠶種取扱

風穴容積千九百八立方尺にして蠶種貯藏枚數三萬三千枚之れが入穴時期は毎年二月中旬入穴し需に應じ隨時出穴送付すべし



### 東野風穴

岐阜縣惠那郡東野村二二一番地  
所有者 東野社

藤井玉藏  
外一名

風穴位置

信州西筑摩郡秋坂村字三坂御料地内南側に在り

交通運輸

美濃中津町より信州飯田に至る通路にして人馬の通行多く極めて便にして且つ安全なり

容積及蠶種取扱

風穴容積は二千〇九十八立方尺にして蠶種貯藏枚數一萬三千六百二十枚なり而して入穴は毎年二月上旬出穴は依托者の希望により隨時取扱ふ

### 木曾風穴

長野縣西筑摩郡日義村九四番地  
所有者 松榮館主

松原榮助  
(電 畧 符 キ ヅ)

風穴位置

信州西筑摩郡日義村字宮ノ越旭將軍義仲の舊里小字西山山中にあり明治十六年の建設なり

交通運輸

中央西線宮ノ越停車場より北約三丁仲仙道の舊道にしてかけぬけ近道の沿側なり郵便は宮ノ越局配達區内とす

容積及蠶種取扱

風穴容積は千三百十二立方尺にして蠶種貯藏枚數二千枚之れが入穴は二月初旬出穴は依頼に應じ隨時取扱ひを爲す

長野縣西筑摩郡神坂村二五四番地

所有者 社主 嶋崎千代吉

東野社  
新坂下社  
新勝社

尾貯藏庫  
第一貯藏庫

風穴位置

信州西筑摩郡神坂村字三坂北の方御料地内に在り

交通運輸

中央西線中津驛より飯田町へ通する里道三坂街道に沿ひ約三里にして郵便は神坂局電報は中津局配達區内に屬せり

容積及蠶種取扱

風穴ケ數は三ヶ所此容積五千三百四十八立方尺にして蠶種貯藏枚數三萬三千三百枚なり之れが入穴時期は毎年二月上旬出穴は委托者の需めに依り隨時取扱ひを爲す又蠶種の究理を取扱ふ

岐阜縣惠那郡遠山村字久保原六番戸

所有者 社主 熊谷定次郎

### 濃信共同組合社風穴

風穴位置

信州西筑摩郡神坂村字三坂北方帝室林野三八四〇番地籍内に在り

交通運輸

中央西線中津停車場より三里交通、運搬の便極めて佳良なり

容積及蠶種取扱

風穴容積は一千二百六十六立方尺にして此蠶種貯藏枚數二萬一千枚なり之れが入〇は毎年二月上旬出穴は依托者の望みに應じ隨時取扱ひを爲す



坂下社第四貯藏庫 岐阜縣惠那郡坂下村四七七番地

### 大洞 風穴 吉村萬彌

風穴位置 信州西筑摩郡神坂村字三坂御料地北方海拔四千尺の高處に在り

交通運輸 中央西線中津停車場より三里にして交通運輸とも至つて便利なり

容積及蠶種取扱 風穴容積は三千〇六十立方尺にして此蠶種貯藏枚數五万枚なり而して之が入穴時期は毎年二月上旬出穴は依托者の需めに應し隨時取扱ひを爲すものとす

長野縣西筑摩郡奈川村入山下

### 忠地 風穴 忠地愛藏

風穴位置 信州西筑摩郡奈川村字入山下奈川筋民有山林内神場平にあり

交通運輸 野麥街道筋南安曇郡稻核へ東壹里半又本郡木祖村藪原への通路あり愛知、岐阜兩縣へは殊に便利なり郵便は奈良川局配達區内とす

容積及蠶種取扱 風穴容積は壹千貳百九十六立方尺にして蠶種貯藏枚數約壹萬枚なり入穴は一月初旬出穴は御依頼に應し隨時取扱ふものとす

岐阜縣惠那郡落合村一〇番地

### 塚田 風穴 塚田彌左衛門

風穴位置 信州西筑摩郡神坂村字三坂北ノ方帝室御料林野三八四〇番地籍内に在り

交通運輸 中央西線中津川驛より三里余該驛より二里の間荷馬車の便自在なり郵便は神坂局電報配達は市外(中津局又は吾妻局區内)

容積及蠶種取扱 風穴容積は千八百九十立方尺蠶種貯藏枚數三万枚にして之れが入穴は毎年三月上旬出穴は依托者の需めに應し隨時取扱ふ又蠶種の究理扱目下設置計画中

長野縣西筑摩郡新開村二六二七番地

### 曾木 上野 風穴 原才治

風穴位置 信州西筑摩郡新開村字上野小字大上野木曾川の左岸上野山の麓に在り

交通運輸 仲仙道筋福嶋を距る上田村より十丁、中央西線(工事中)福嶋驛より二十丁宮ノ越より一里半にして風穴に達す此間車馬の便あり郵便電信は福島局扱なり

容積及蠶種取扱 風穴容積は四百八十六立方尺にして蠶種貯藏枚數八千枚なり入穴時期は毎年三月上旬出穴は御依頼に應し隨時行ふの便あり又蠶種の究理扱を爲へすし



三坂 風穴 **長 榮 社** 所有者 社長 **大 嶋 長 八**

風穴位置 信州西筑摩郡神坂村字三坂南方御料地内に在り  
交通運輸 中央西線中津驛より參里餘又同所より下伊那郡飯田街道筋にして郵便は神坂局電信は東濃中津局所屬なり

容積及蠶種取扱 風穴容積壹千七百二十八立方尺にして蠶種貯藏枚數貳万五千枚なり而して之が入穴は毎年二月中旬又隨時出穴の需めに應すへし

**萬 榮 風 穴** 所有者 嶋 田 萬 作

風穴位置 信州西筑摩郡神坂村字三坂御料地内南方に在り  
交通運輸 中央西線中津驛より三里交通運輸の便極めて佳良あり

容積及蠶種取扱 風穴容積は千五百十二立方尺其蠶種貯藏枚數二萬五千枚なり而して之れが入○時期は毎年二月初旬にして依托者の望みに應じ隨時出穴するものとす

三坂 風穴 **第 一 貯 藏 庫** 所有者 岐阜市神田町七丁目 **中 央 蠶 業 株 式 會 社** 社長 中 村 敬 一

風穴位置 信州西筑摩郡神坂村字三坂御料地籍内に在り  
交通運輸 中央線に依る落合より車馬の便あり此間約三里通信運搬共至極便利なり

容積及蠶種取扱 風穴容積は一千七百二十八立方尺にして蠶種貯藏枚數二萬八千枚なり而して之れが入穴時期は毎年二月初旬出穴は依托者の望みに應じ隨時取扱ふ又蠶種の究理は専門的取扱ひを爲す

坂下社第二貯藏庫 長野縣西筑摩郡神坂村字坂下二九九番戸 所有者 **加 藤 才 次 郎**

風穴位置 信州西筑摩郡神坂村字三坂南方御料地内に在り  
交通運輸 中央西線中津驛より三里飯田街道筋にして郵便は神坂局電報は中津局配達區内とす

容積及蠶種取扱 風穴容積は一千八百七十二立方尺にして此蠶種貯藏枚數三萬枚なり而して之れが入穴は毎年二月上旬より出穴は依托者の希望に依り隨時取扱ひを爲す



### 荒田風穴

長野縣東筑摩郡本城村二二七〇番地  
所有者 窪田長一郎

風穴位置

信州東筑摩郡本城村字東條東條川の沿岸荒田山腹に在り  
中央東線西條停車場より十丁にして風穴に達す車馬の便あり郵便電信は西條局配達区内に属す

容積及蠶種取扱

風穴容積は千六百五十六立方尺蠶種貯藏枚數一千枚にして入穴は毎年三月上旬隨時出穴の需めに應ず

### 香爐山風穴

長野縣東筑摩郡本城村九九番地  
所有者 西村清作

風穴位置

信州東筑摩郡本城村字東條ゴロに在り  
中央線西條停車場より十三丁郵便は西條局区内なり

容積及蠶種取扱

風穴容積は四百四十一立方尺にして蠶種貯藏枚數一千枚なり而して之れが入穴時期は毎年三月上旬出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱ふ

### 上平山風穴

長野縣東筑摩郡麻績村四二番地  
所有者 吉野重兵

風穴位置

信州東筑摩郡麻績村字上平九八四番に在り

交通運輸

中央線麻績停車場より風穴迄二十丁郵便電信は麻績局配達区内なり

容積及蠶種取扱

風穴容積は三百七十八立方尺此蠶種貯藏枚數一千枚にして入穴時期は二月上旬にして依托者の望みにより隨時出穴すべし

### 亂橋氷山風穴

所有者

長野縣東筑摩郡本城村二四四番地  
代表者 山田信司

風穴位置

信州東筑摩郡本城村大字亂橋に在り通稱氷山神社境内の鬱蒼たる森林中にあり

交通運輸

中央線西條停車場より南方二十町なり郵便は西條局配達区内に屬せり

容積及蠶種取扱

風穴容積は千〇八十立方尺にして此蠶種貯藏枚數五千枚なり而して之れが入穴時期は毎年三月上旬にして夫より隨時出穴の依頼に應ず 又蠶種の究理をも取扱ふ



### 船附

### 風穴

所有者

百瀬兼太郎

風穴位置

信州東筑摩郡入山邊村字船附上の山に在り

交通運輸

中央線松本停車場より東へ一里半にして人馬車の便あり郵便、電信は淺間局配達區内に屬せり

容積及蠶種取扱

風穴容積は千八百立方尺にして此蠶種貯藏枚數一萬二千枚なり而して之れが入穴は二月中旬又出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱ふ 蠶種の究理を行ふの便あり

### 八龍

### 風穴

所有者

早川泰次郎

風穴位置

信州東筑摩郡入山邊村地籍金華山麓薄川の南岸八龍山越に在り

交通運輸

中央線松本驛を去る約三十町車馬の便良く且つ里道平坦にして運輸は至極便利なり

容積及蠶種取扱

風穴容積千〇〇八立方尺にして蠶種貯藏枚數一万〇九百枚之れが入穴は二月中旬出穴は需めに依り隨時取扱をなすへし

### 武石嶺風穴

所有者

飯沼源一郎

風穴位置

信州東筑摩郡本郷村字武石嶺海拔五千二百尺の高所に在り

交通運輸

松本より小縣郡武石村を経て大屋停車場に至る里道にして東筑摩郡里山邊より二里半道路險坂に付蠶種取扱ひは本郷村本宅に於てなす郵便取扱は淺間局に屬す

容積及蠶種取扱

風穴容積は千六百二十尺此蠶種貯藏枚數二万四千六百六十六枚にして之れが入穴時期は三月上旬出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱ふ 又蠶種の究理は六月一日より七月十日迄の發生は何日にも指定の日發生せしむる様取扱ふ尙遠方は郵送の便宜を計り到着後發生する様注意する事

### 針尾

### 風穴

所有者

上條藤太郎

風穴位置

信州東筑摩郡朝日村大字針尾大尾澤に在り

交通運輸

中央東線鹽尻停車場より二里にして車馬の便あり朝日街道迄三丁

容積及蠶種取扱

風穴容積二千三百〇四立方尺此蠶種貯藏枚數五千枚にして入穴時期は毎年三月中旬出穴は依托者の需めに依り隨時取扱をなす 又蠶種究理の依頼に應ずへし



### 鷺澤風穴

風穴位置 信州東筑摩郡波多村大字赤松鷺澤山に在り

交通運輸 松本市より飛彈へ通ずる縣道の側にして全市より西へ三里運搬の便大に宜し

容積及蠶種取扱 風穴容積は三千八百八十八立方尺にして此蠶種貯藏枚數六万四千枚なり而して之れが入穴は二月上旬出穴は隨時取扱をなすものとす 又蠶種の究理取扱をなす

所有者 長野縣東筑摩郡波多村四六八番地

平林琢磨

### 錦風穴

風穴位置 信州東筑摩郡入山邊村字中入小字堀の澤に在り

交通運輸 松本市より東方二里二十町内二里車馬の便容易なり

容積及蠶種取扱 風穴容積は二百九十二立方尺にして蠶種貯藏枚數四千八百七十五枚なり之れが入穴は三月初旬出穴は依托者の希望により隨時取扱ひを爲す 又蠶種の究理取扱準備中なり

所有者 長野縣東筑摩郡入山邊村五二三番地

飯ヶ濱仙松

### 稻核風穴

風穴位置 信州南安曇郡安曇村字稻核安田驛にして山体皆「ゴロ」より成り海拔實に八百五十

交通運輸 中央線松本驛より縣道野麥街道に沿ひ約五里にして車馬あり交通運輸は最も便利なり

容積及蠶種取扱 風穴は二箇所にして此總容積六千七百七十七立方尺蠶種貯藏枚數十一万二千九百枚なり而して之れが入穴時期は毎年二月上旬出穴は依托者の需めに應し隨時取扱ふ 又蠶種究理扱は元祖にして遠國へ郵送する實に獨特の技を有せり

所有者 長野縣南安曇郡南安曇村二六七番地

稻核風穴蠶種貯藏株式會社

專務取締役 金井儀一郎

### 鳴々風穴

風穴位置 信州南安曇郡安曇村字鳥々梓川の沿岸に在り

交通運輸 松本市より飛彈國へ通ずる野麥街道にして松本市より安曇村の内嶋々迄四里二十二町にして荷馬車人力車乗合馬車の便あり郵便電信は市内にて鳥々局より三回の配達を受け尤便利あり

容積及蠶種取扱 風穴容積七百九十二立方尺にして此蠶種貯藏枚數一万枚なり而して入穴は二月中旬出穴は隨時行ふものとす

所有者 長野縣南安曇郡安曇村五〇番地

奥原庄一郎



### 狸平風穴

長野縣南安曇郡安曇村五八番地

所有者 奥原勝衛

風穴位置 信州南安曇郡安曇村梓川沿岸に在り

交通運輸 松本市より飛騨國へ通ずる野麥街道にして松本市より安曇村風穴所在地迄四里三十町にして荷馬車人力車乗合馬車あり郵便電信は市内にして嶋々局より三回の配達を受け最も便利なり

容積及蠶種取扱 風穴容積千二百六十立方尺にして此蠶種貯藏枚數一万二千枚なり而して入穴は二月初旬出穴は隨時取扱をなすべし 又蠶種の究理を行ふ

### 中澤風穴

長野縣南安曇郡安曇村大野川

所有者 中澤豊吉

風穴位置 其所在三ヶ所にして二ツは信州南安曇郡安曇村大野川乗鞍山麓に在り一ツは同村字稻核梓川沿岸にあり

交通運輸 中央線松本停車場より大野川風穴に至る九里同稻核所在風穴に至る六里にして郵便電信の配達は稻核局又は嶋々局區内に属せり

容積及蠶種取扱 風穴總容積九千四百〇八立方尺にして此蠶種貯藏枚數實に十四万九千八百枚而して之れが入穴時期は毎年三月初旬出穴は依頼者の需めに應じ隨時取扱を爲す 又究理の依托に應ず

### 風穴本元

長野縣南安曇郡安曇村乙二一四番地

所有者 前田龜市

風穴位置 信州南安曇郡安曇村大字稻核目宅裏手に在り居宅と風穴との間僅かに拾數間に過ぎず梓川より約二町の高所に住す

交通運輸 中央線松本驛下車、松本市より西南縣道野麥街道筋同市より六里弱此間人馬車の便あり郵便配達及電報配達は信濃嶋々局(當所より一里弱)郵便物引受局稻核局(局舎は自宅内にあり)

容積及蠶種取扱 風穴は二ヶ所にして此容積九千〇八立方尺蠶種貯藏枚數十四万三千枚なり而して之れが入穴時期は毎年二月中旬出穴は依頼者の需めに應じ隨時取扱ふべし 蠶種の究理は依頼者の希望により任意の期間に於て取扱ふ

### 氷澤風穴

長野縣南安曇郡安曇村二一九番地

所有者 前田磯市

風穴位置 信州南安曇郡安曇村字稻核小字家の浦に在り

交通運輸 縣道飛騨街道に沿ひ中央線松本停車場を去る六里車馬の便あり稻核郵便局へ十丁嶋々郵便(電信扱)局へ一里餘なり

容積及蠶種取扱 風穴箇數は二ヶ所にして此容積は六千〇五十七立方尺にして蠶種貯藏枚數八萬枚なり而して之れが入穴時期は二月中旬出穴は依頼者の希望に依り隨時取扱ふ 又蠶種究理の需めに應ず



### 明ヶ平風穴

長野縣南安曇郡安曇村一五九番地

所有者 明進館

有馬周次郎

風穴位置

信州南安曇郡安曇村字稻核梓川の上流明ヶ平に在り

交通運輸

飛彈國に達する野麥街道筋松本市を距てる約五里郵便電信車馬ありて至極便利なり

容積及蠶種取扱

風穴容積四千〇五十立方尺にして此蠶種貯藏枚數六萬七千五百枚なり之れが入穴時期は二月上旬出穴は依頼に應じ隨時行ふべし

又蠶種の究理を行ふ

### 稻核風穴

長野縣南安曇郡安曇村

所有者

齋藤岡平

風穴位置

信州南安曇郡安曇村字稻核犀川の上流梓川の水平高さ二百五十尺西北に山を負ひ東南に向ひ土地最も乾燥せる小字家の内に在り

交通運輸

諸方への通路あるも就中央東線松本停車場に下車し縣道野麥街道に沿ひ五里三十丁車馬の便あり

容積及蠶種取扱

風穴容積三千〇四十立方尺にして蠶種貯藏枚數五萬枚なり是れが入穴時期は毎年十二月出穴は隨時依頼者の需めに應ずべし

又蠶種の究理は學理と實驗とに依り誠實に取扱ふ

### 茗荷平風穴

長野縣南安曇郡安曇村

所有者

前田長次

風穴位置

信州南安曇郡安曇村字稻核乗鞍山脈に連なる巒峰梓川の上流明ヶ平に在り

交通運輸

松本市より飛彈に通ずる縣道に沿へ車馬の便あり殊に嶋々稻核は各郵便局あり旅店あり各商店あるを以て日用品の供給等聊か遺憾なく交通の機關大に備はれり

容積及蠶種取扱

風穴容積は三千二百四十立方尺にして蠶種貯藏枚數五萬枚なり之れが入穴時期は毎年二月出穴は隨時是れを行ふ

又委託者の需めに應じて蠶種の究理取扱をなす

### 家ノ向風穴

長野縣南安曇郡安曇村一九四番地

所有者

齋藤利藤次

風穴位置

信州南安曇郡安曇村稻核小字家ノ向に在り信濃川の上流梓川より約五丁の高處に在り

交通運輸

鐵道下車驛松本驛を最も便利とす同所より西南約六里弱の道程にあり縣道野麥街道上にして此間人馬車の便あり又郵便電信集配局は島々局(當所より一里弱)郵便物引受局は稻核局を便利とす

容積及蠶種取扱

風穴容積四千九百〇二立方尺此蠶種貯藏枚數八萬〇六百枚なり而して之れが入穴は一月上旬出穴は隨時依頼者の需めに應じて取扱ふ

又蠶種の究理は依頼者の希望に依り之を取扱ふ



### 海ノ口風穴

長野縣北安曇郡平村一三四番地

所有者

荒山徳右衛門

風穴位置

信州北安曇郡平村大字海ノ口に在り

交通運輸

縣道糸魚川街道に沿ふて風穴へ六丁車輛の便自在なり大町へ二里中央線明科停車場へは時間馬車の便あり

容積及蠶種取扱

風穴容積は四千九百五十立方尺此蠶種貯藏枚數六萬枚にして之れが入穴時期は毎年二月中旬出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱ふ又蠶種の究理を取扱ふ

### 平出風穴

長野縣北安曇郡池田町村四〇四番地

所有者

松澤兼太郎

風穴位置

信州北安曇郡廣津村字平出有名なる登波里橋の北十五丁の處に在り

交通運輸

中央線明科驛下車池田町に至る約三里此間人馬車の便あり夫れより風穴所在まで僅かに三十丁郵便、電信は池田町局無料配達區内に屬せり

容積及蠶種取扱

風穴容積は三千八百七十五立方尺此蠶種貯藏枚數五萬枚なり而して之れが入穴時期は毎年二月初旬出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱ふ又蠶種の究理取扱を爲す

### 源汲風穴

長野縣北安曇郡平村四四〇番地

所有者

源汲風穴合名會社

代表者 太田 梅吉

風穴位置

信州北安曇郡平村字源汲唐澤に在りて南は高瀬川の激流あり南面鹿嶋川の清流を眺め後ろに五六岳を帯び空氣清涼にして天然の好適地なり

交通運輸

明科停車場を距る大町迄約五里大町より西北方約一里にして大町郵便電信局區内明科より時間馬車あり交通最も便利なり

容積及蠶種取扱

風穴容積二千〇二十五立方尺にして此蠶種貯藏枚數二萬枚なり而して入穴は二月中旬出穴は依托者の需めに應じ隨時取扱ふ 又蠶種の究理をも爲す

### 鷹狩風穴

長野縣北安曇郡大町一七二番地

所有者

百瀬仲三郎

風穴位置

信州北安曇郡八坂村字南鷹狩に在り

交通運輸

本郡大町より東方二十町にして八坂村への通路に沿ひ交通の便最も宜し殊に中央線明科驛よりは時間馬車の便あり郵便電信は大町局配達（無料）區内に屬せり

容積及蠶種取扱

風穴容積は一千百五十二立方尺此蠶種貯藏枚數一萬九千二百枚なり而して之れが入穴時期は毎年二月初旬又依頼者の需めに應じ隨時出穴すべし蠶種の究理をも取扱ふ



# 祖山風穴

長野縣長野市東ノ門町  
所有者 祖山風穴株式會社  
社長 林清作

## 風穴位置

信州上水内郡榑村字祖山平前戸隱山の東南海拔七百メートルの高丘に在りて庫内は冷風偉勢最も乾燥あり

## 交通運輸

長野市より鬼無里街道裾花川の上流に沿ひて約四里交通運輸の便最も良し

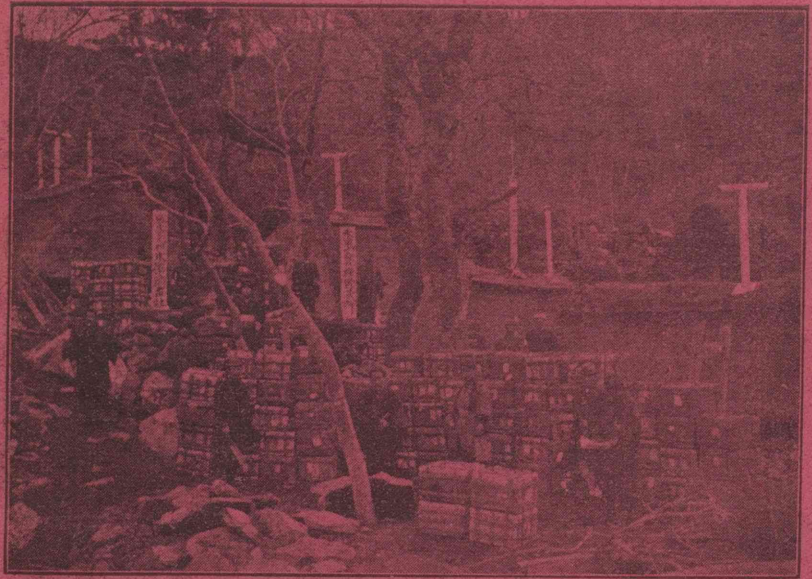
## 容積及蠶種取扱

風穴容積は千四百四十立方尺にして蠶種貯藏枚數二万枚なり而して之れが入穴時期は毎年三月上旬出穴は隨時取扱ふ 又蠶種の究理委託に應ずへし

明治四十一年十月二十日印刷  
明治四十一年十月廿五日發行

長野縣廳内  
發行兼編輯者 長野縣蠶種風穴貯藏營業者組合  
印刷者 堀賢吉  
印刷所 長野縣長野市旭町八番地 信濃新聞株式會社

# 蠶種貯藏氷風穴 元祖

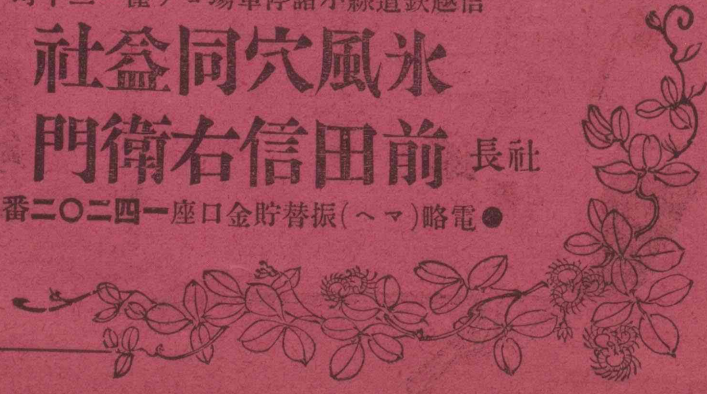


創業明治七年蠶種貯藏額三十三萬枚

長野縣北佐久郡川邊村字氷  
信越鐵道線諸停車場ヨリ僅三十三町

氷風穴同益社  
社長 前田信右衛門

●電話略(マ〜)振替貯金口座一四二〇番●





糸質優美  
飼育容易

南信館

蠶種

一本館の特色は専ら分場育とし一室に於て多大の飼育を爲さる爲に其結果優良の讚稱全國に普し  
一本館の特色は蠶種の貯藏に注意し發生齋一にして出穴は随時期間を誤るとなし  
一本館風穴蠶種は最も完美の風穴に貯藏するを以て其結果良好圓滿なり  
一本館生種秋蠶種は六月下旬より九月月上旬迄引續き製造するを以て何時たりとも御希望に應ずることを得

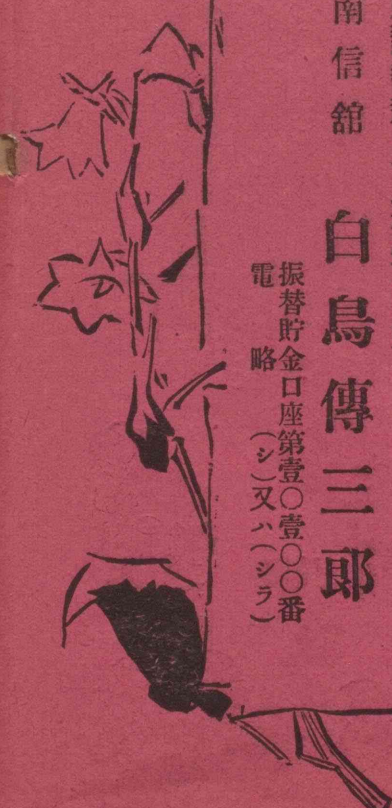
○種類は 長白龍 白飛白 其他  
○風穴蠶種代價 平附一枚 壹圓五拾錢 原種用粹製 六拾五錢  
○生種秋蠶種 一産附期七月十日より九月五日迄 一代價百蛾附一枚壹圓六拾錢 八十蛾附寺圓參拾錢 原種用粹製六拾錢

長野縣諏訪郡玉川村字田道

蠶種業 南信館 白鳥傳三郎

(玉川郵便局)

振替貯金口座第壹〇壹〇〇番  
電 略 (シ)又ハ(シラ)



確實

東

風 穴

信 廉價 藏貯種蠶

位置

長野縣北佐久郡川邊村大字大  
久保字前山(小諸停車場より  
約二十丁)

取扱事務所

小諸停車場前

東信風穴社主任

井出佐源太

(電信略號井サ)(電話長三拾七番)

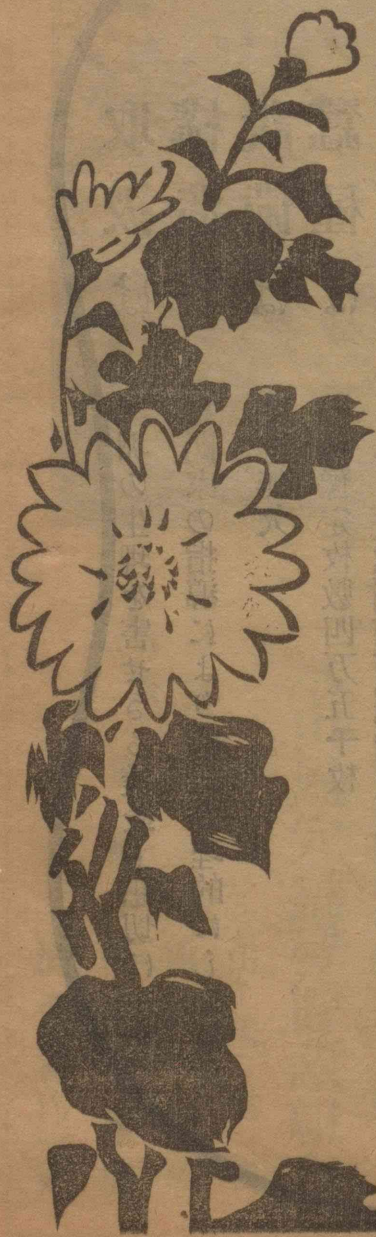


名小横川風穴

一交通  
一運輸  
一位置

辰野驛より參拾丁三州街道筋より貳拾丁  
郵便取扱局宮本電報配達市外  
風穴の所在は小横川山人家より十八丁中米の城六風穴

小澤庄太郎



名海ノ口風穴

所在地 北安曇郡平村海ノ口  
所有者 荒山徳右衛門



一交通運輸ノ便  
縣道糸魚川街道ニ沿ヒテ風穴へ六丁車輛ノ便自在ナリ大町  
へ二里夫レヨリ明科停車場間馬車ノ便アリ且ツ風穴ハ  
仁科湖ニ面シ海ノ口耕地整理地ヲ瞰下シ風光絶佳ノ地ナリ

附近著名ノ山川勝地

勝地名	風穴所在地	勝地名	風穴所在地
白馬岳ノ高山植物	ヨリ五里	姫川上流	二里
太黒岳ノ嶺山	六里	海ノ口耕地整理地	五里
青木湖	一里	葛温泉	一里二十丁
中綱湖	廿八丁	小谷温泉	八里
仁科湖	十五丁	仁科古城跡	三十丁



乱橋氷山風穴蠶種貯藏所



永山風穴は明治六年ノ創立ニシテ爾來永續今日ノ隆盛ヲ來シ貯藏蠶種ノ良成績ナルコトハ諸賢ノ御經驗ニ任セ敢テ喋々ヲ要セサルナリ

交通運輸 中央線西條驛ヨリ南方二十町西條郵便局區内ニシテ再度ノ集配アリ

究理 學理ト經驗トヲ應用シテ確實ト蠶ニ究理ノ盡ミ應シ取扱ス

位置 通稱永山水神社境内ノ鬱蒼タル森林中ニ在リ炎熱燒クガ如キ土用中ニ雖モ天然ノ氷ヲ存スルヲ以テ著名ナリ

長野縣東筑摩郡本城村大字乱橋

**氷山風穴蠶種貯藏組合**

全 村 山 田 信 司  
 全 村 西 澤 卯 源 治  
 全 村 窪 田 源 四 郎  
 本 郷 村 酒 井 喜 代 一 郎

日 本 一 折 澤 風 穴 小 組

取扱は 蠶卵の生理を害せざる様最も懇切にあす  
 構造は 専門家の指導により新式合理的にして最良  
 設備は 完全無欠  
 貯藏豫定枚數四万五千枚

信濃國下伊那郡智里村字本谷

營業者 佐々木虎彌  
 管理者 佐々木才治郎

風穴は 世界無類の寒冷なる良風脈を有す  
 湿度は 年中最高卅七八度を超へず盛夏の候卅五度  
 風脈は 適度



完 全 無 缺  
**蠶種貯藏風穴**

所在は下伊那郡智里村園原御坂山々腹小  
 字正木にあり本郡駒場より美濃國への通  
 路に沿へ自宅より僅かに九丁にして交通  
 運搬共至極便利あり  
 殊に穴内冷風の吹出は世界無類にして極  
 めて低溫且つ濕氣尠まく蠶種の貯藏に適  
 當し蠶蟻の發生最も良好あり

所有者 下伊那郡智里村二二三番地  
**田中榮太郎**

外 名

**不動風穴**

取 扱  
 構 造  
 設 備

蠶卵の生理を害せざる様最も懇切にあす  
 専門家の指導により新式合理的にして最良  
 完全無欠

信濃國下伊那郡智里村字本谷

營業者

古布村傳之助  
 佐々木徳四郎  
 熊谷勘太郎

溫 度  
 濕 度  
 風 脈

年中最高三十九度を超へず盛夏の候三十九度  
 適度  
 世界無類の寒冷ある良風脈を有す

備考

發生明治四十一年度八月廿五日迄出穴ノ分九分以上



蠶種貯藏庫

# 氷平風穴

最も完全なる

本風穴は有名なる淺間山麓烏

帽子岳の西方に位し室内は極

めて低溫にして濕氣少まく年

中蠶種の貯藏に適す交通の便

は信越線上田驛より定期往復

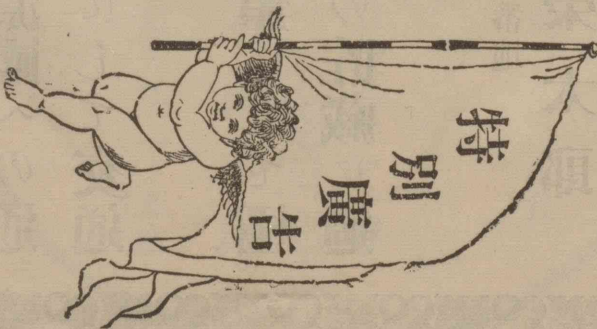
馬車あり

尙蠶種究理の取扱をります

長野縣小縣郡傍陽村一四九番地

所有主 武捨市次郎

外 九 名



## 風穴蠶種貯藏廣告

長野縣西筑摩郡神坂村字三坂御料地内

濃信共同組合社蠶種貯藏事務所

第一條 蠶種貯藏規定

拾 枚未滿 壹枚ニ付金六

五拾 枚同 金五

壹千 枚同 金參

第二條 蠶種ヲ出穴シ發送ノ際郵送ニ因ルモノハ蠶種壹枚ニ付郵稅

第三條 蠶種貯藏ノ受附ハ十二月一日ヨリ翌年二月十日迄トス出穴

ハ六月一日ヨリ八月三十日迄トス

第四條 委託者ニ於テ自己ノ貯藏器ヲ使用シ封入僱預入レシナクモ

ノハ壹箱毎ニ其枚數ヲ記載シ別ニ封入僱預ケ入ヲ致ス旨委託狀御

第五條 蠶種貯藏ニ附テハ常ニ相當ノ保護ヲナスト雖不可抗力ニヨ

リ起ル災害ハ其責ヲ負ハス

○第一貯藏庫

○位置 長野縣西筑摩郡神坂

○海抜 三千五百尺

○貯藏枚數 二萬八千八百枚

○貯藏期間 自二月至八月三十日

○容量 千二百六十立方尺

○位置 長野縣西筑摩郡神坂

○海抜 三千五百五十尺

○貯藏枚數 二萬八千八百枚

○貯藏期間 自二月至八月三十日

○容量 千二百六十立方尺

○位置 長野縣西筑摩郡神坂

○海抜 三千五百尺

○貯藏枚數 二萬八千八百枚

○貯藏期間 自二月至八月三十日

○容量 千二百六十立方尺

○位置 長野縣西筑摩郡神坂

○海抜 三千五百尺

○貯藏枚數 二萬八千八百枚

○貯藏期間 自二月至八月三十日

○容量 千二百六十立方尺

○位置 長野縣西筑摩郡神坂

○海抜 三千五百尺

○貯藏枚數 二萬八千八百枚

○貯藏期間 自二月至八月三十日

○容量 千二百六十立方尺

○位置 長野縣西筑摩郡神坂

○海抜 三千五百尺

○貯藏枚數 二萬八千八百枚

○貯藏期間 自二月至八月三十日

○容量 千二百六十立方尺

○位置 長野縣西筑摩郡神坂

○海抜 三千五百尺

○貯藏枚數 二萬八千八百枚

○貯藏期間 自二月至八月三十日

濃信共同組合社

第一貯藏庫 支配人

第二貯藏庫 支配人

岐阜縣惠那郡遠山村大字久保原六番戶

熊谷定次郎

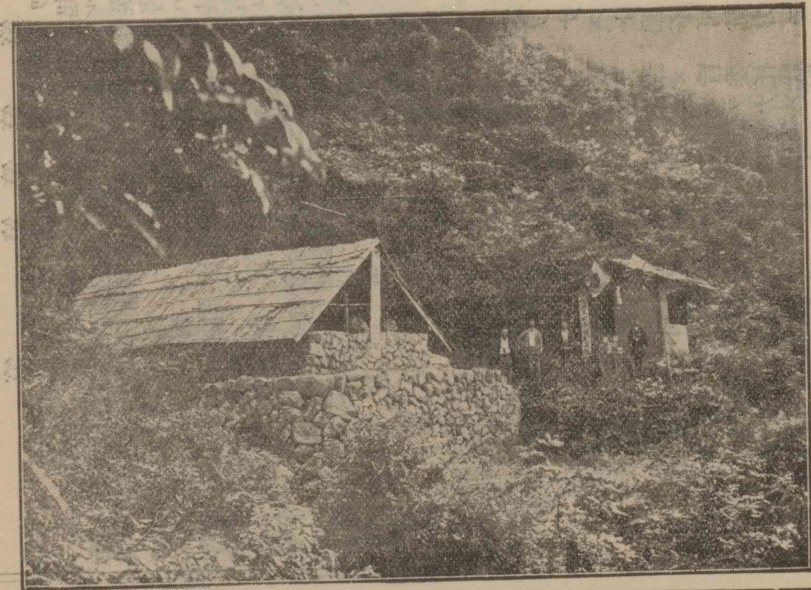
全國蠶種製造家各位御中



獨鈷山風穴 (蠶貯藏庫)

長野縣小縣郡西塩田村  
獨鈷山風穴持主  
福田俊次郎  
工藤善助  
矢幡利金太

一信越線  
上田停車  
場々取扱所  
上本郷矢幡利金  
太迄一里半此間人  
馬車の便あり夫れより  
風穴所在迄約二十丁餘  
郵便は 本郷局区内電信は東  
鹽田局市内  
一究理 蠶種の究理取扱をなす  
一獨鈷山 巍峨たる高峯にして海拔四千  
尺以上





小野寺文庫  
0497930-8

群馬県立図書館



0497930-8